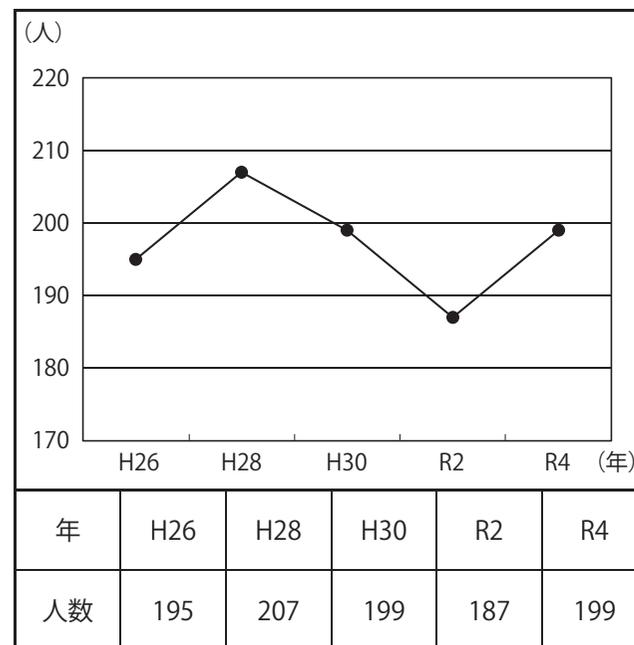


F-60 産婦人科・産科従事医師数(15～49歳女子人口10万人当たり)

順位	都道府県名	15～49歳女子人口 10万人当たり医師数(人)	(人)
			0 25 50 75
1	鳥取	68.8	
2	長崎	66.4	
3	徳島	63.0	
4	秋田	62.4	
5	和歌山	62.1	
6	沖縄	61.9	
7	富山	61.4	
8	福島	60.6	
9	島根	60.0	
10	鹿児島	59.5	
11	東京	59.4	
12	山梨	58.5	
13	京都	56.9	
14	岡山	56.4	
15	山形	56.3	
16	大阪	56.0	
17	大石川	55.8	
18	宮崎	55.7	
19	三重	55.6	
20	香川	55.1	
21	高知	55.0	
22	愛媛	54.7	
23	佐賀	54.1	
24	静岡	52.1	
25	山口	52.0	
26	岩手	51.8	
27	兵庫	51.7	
28	栃木	51.6	
29	岐阜	51.3	
30	宮城	51.1	
	全国値	50.9	
31	愛知	50.1	
32	広島	49.5	
33	大分	49.5	
34	長野	49.3	
35	滋賀	48.9	
36	熊本	48.9	
37	群馬	48.1	
38	福岡	47.7	
39	奈良	46.7	
40	茨城	46.3	
41	青森	45.5	
42	福島	44.4	
43	新潟	44.1	
44	神奈川	44.0	
45	千葉	43.2	
46	北海道	43.0	
47	埼玉	34.2	

<岡山県の推移>



F60

(人)

<資料出所ほか>

- ・調査時点 令和4年12月31日(2年毎)
- ・算出方法 産婦人科・産科従事医師数÷15～49歳女子人口×100,000
- ・資料出所 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」  
15～49歳女子人口は、総務省「国勢調査」(令和4年10月1日時点)を使用
- ・従事する診療科名(複数回答)で「産婦人科」、「産科」と回答した者の数